

令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立浅井中小学校	学校No.	31
<p>1. 福祉教育の取り組み(目標・計画・推進体制)</p> <p>SDGsの目標3〔保健〕の分野に、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」とある。本校では、社会福祉への関心と理解を深め、様々な体験活動や交流を通して『福祉の心』を育てることをねらいとしている。本年度は、SDGsの内容とも関連させて、「総合的な学習の時間」や学校行事において身近な福祉に目を向けた教育活動を展開した。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容(活動の記録)</p> <p>(1)N-1グランプリ(総合的な学習等)の開催 「温かい笑いで学校を包む」ことを目標として教育漫才「N-1グランプリ」を2年連続で開催した。人との「コミュニケーション能力」や「情報発信能力」を高めることをねらいとし、年齢や障害の有無を問わずみんなが楽しめる企画は今年度も保護者や地域の方にも好評であった。</p> <p>(2)福祉実践教室(総合的な学習) 5・6年生が車いす体験、ガイドヘルプ、手話、点字の講座を受けた。実際に車いすで生活をしている方の話を聞いたり体験をしたりすることで、障害のある方の苦労などを知ることができた。また、現在は点字ブロックやスロープなどが整備されているところが増えていることも知り、バリアフリーに対する関心を高めることもできた。</p> <p>(3)募金活動 児童会と代表委員が中心となって、積極的な募金活動を展開した。2学期の「赤い羽根募金」は、3日間実施し、多くの善意が集まった。</p> <p>(4)「赤い羽根」啓発作品への参加 毎年、夏休みに実施している「『赤い羽根』作品コンクール」に多数の児童が参加し、作品を出品した。</p> <p>(5)人権週間の取り組み 各学級で担任による読み聞かせ(紙芝居・絵本等)を実施した。また、各学級のスローガンを考え、全校への発表を行い、その後各教室内に掲示した。いじめをなくすための標語づくりを全学級で取り組んだ。1・2年生は人権擁護委員さんに来校いただき、人権教室を開催した。開催の前にはイメージソング「世界をしあわせに」を昼の給食時に放送して意識を高めた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>コロナ禍が続いていたが、今年度は3年ぶりに福祉実践教室を開催できた。実際に車いすで生活している方の話を聞いたり視覚にハンデをもつ方が何に困っているかを知ったりすることができた。誰もが安心して暮らすことができるために、自分ができることは何だろうと真剣に考える児童も多くいた。今後は、年齢や障害のある・なしではなく、人が人としてどのように関わればよいのかをさらに考え、温かい交流を通して心豊かな人間になることができるように実践を進めていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和 4 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立千秋東小学校	学校 No.	32
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校は、「知・徳・体の調和のとれた、未来を拓くたくましい児童の育成を図る」を教育目標に、「自ら学び自ら考える子」「自らを律し、他を思いやる子」「健康で、意欲的に活動する子」をめざす児童像として教育活動を実践している。日常の学校生活や道徳、総合的な学習の時間等を通して、福祉の心と実践力を持った児童の育成を目指し、福祉推進実践校として以下のように取り組んだ。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 児童会活動を中心とした活動 異学年交流として、年度初めに顔合わせのペア活動を行った。お互いに手紙を書いて交換し、上の学年が計画した遊びで交流した。また、縦割り班によるなかよし清掃、ペア学年によるわくわくフェスティバル等、上級生が下級生をリードして活動を行う交流を実践した。</p> <p>(2) 福祉実践教室 4年生児童が、9月9日（金）に社会福祉協議会の方々を講師に迎えて点字の学習会と高齢者疑似体験を行った。実際に体験することで、その大変さを理解することができ、手助けをするには何ができるか考えるようになった。</p> <p>(3) 地域の方々とのふれあい活動 地域ボランティアや老人会の協力で、伝統文化等を体験することができた。 1年生…昔遊び 地域の方に学校に来ていただき、こま回しやお手玉などを教えていただいた。 2年生…町探検 地域の農家の方にお話を伺いに行った。調べたことを班ごとにファイリングした。 3年生…きなこ作り 地域の方に学校に来ていただき、大豆からきなこに変わる過程を、実際に活動しながら教えていただいた。 4年生…グラウンドゴルフ 老人会の方に学校に来ていただき、ゲームを楽しんだ。 5年生…稲刈り 農家の方に教えていただきながら、田植えや稲刈りを体験させていただいた。 6年生…しめ飾り作り 老人会の方に来ていただき、作り方を教えていただいた。 どの学年も、活動の後にはお礼の手紙を書き、地域の方々とのつながりを深めることができた。</p> <p>(4) 道徳の学習を通して 道徳では、自他の生命を尊重し、他者や社会との関わりの中で、多様な価値を認めながら自分を見つめ直し、自分だからこそできる役割があることに気づかせ、勇気をもって行動することができる児童の育成を目指している。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>ア 成果 児童会活動を中心とした異学年交流を通して、互いの存在を認めあう心を育てることができた。また、見守り隊やふれあい活動でお世話になっている地域の方々との交流から、地域に見守られていることを再確認し、感謝の心を育てることができた。さらにお礼の手紙を書くことで、活動を振り返り、気持ちを形に表す大切さに気付くことができた。</p> <p>イ 今後の課題 コロナ禍で、活動が制限され、マスクをつけた生活が日常になったことで、あいさつやアイコンタクトが難しくなった。最近は徐々に制限が解除され、改めて人との交流の大切さを体験させる必要がある。今後も交流活動を積極的に行い、さらに福祉や思いやりの心を育てていきたい。</p>			

※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。

令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立起小学校	学校NO.	33
-------	----------	-------	----

1 社会福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）

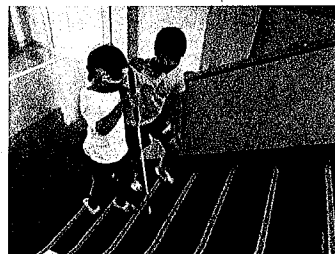
- (1) 目標 高齢者や障害のある人たちにとって、住み良い社会とはどんな社会なのかを体験活動を通して考え、自分たちができることを調査・追究することができる。
- (2) 計画 【1学期】福祉実践教室、福祉について調べ学習を行い、福祉についてまとめる。
【2学期】5年生での総合的な学習の時間、赤い羽根共同募金などへの参加
- (3) 推進体制 福祉教育部会を組織し、各学年と調整して計画を具体的に推進する。
代表委員会が中心になって募金活動などを計画し推進する。

2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）

(1) 福祉実践教室 5月31日

事前に各学級で「思いだしてごらん」を活用して福祉について学習を行った。福祉実践教室には、5年生全員が参加した。はじめに「福祉」について全体講義を聞き、その後、「車いす」、「点字」、「手話」、「ガイドヘルプ」の4つのコースに分かれて各体験活動を行った。

車いす体験では、車いすの操作の仕方を聞き、実際に段差を超えたり、狭い通路を通ったりする難しさや大変さを学ぶことができた。点字体験では、ルールを学んだ後、点字を読んだり、自分で書いたりして、目の不自由な人にとっての点字の便利さとありがたさを学んだ。手話体験では、あいさつや指文字など、身近に使える手話を友達同士で伝え合う体験をし、目が不自由な人の会話の仕方を学んだ。ガイドヘルプ体験では、2人一組になって、アイマスクをした状態で階段の上り下りや、障害物のある道の通行を体験した。自分自身が目の不自由な人の不安な気持ちを知るとともに、目が不自由な人を誘導する難しさを学ぶことができた。どの児童も、初めての体験で、障害をもった方々の苦労や工夫を理解することができた。実際にやってみて、大変さを理解すると同時に、みんなが住みやすい社会をつくっていくためにどうすればよいのかを考えるきっかけを得ることができた。



(2) 5年生での総合的な学習の時間、赤い羽根共同募金

福祉実践教室の体験活動後、児童が興味・関心をもったことでそれぞれが課題をもち、図書館の本や資料を活用して調べ学習を行い、まとめを行った。作成したものは、教室に掲示し、授業参観で来校した保護者にも見てもらった。

(3) 赤い羽根共同募金活動では、地域の商業施設に出かけ、校区の住民に呼びかけを行うなど、募金活動を行った。



3 福祉教育の成果と今後の課題

5年生では、「福祉」をテーマに総合的な学習の時間に学習を進め、多くの児童の意識は高まった。実際に体験することで、自分たちはどう接したらよいのか、社会全体がどうあるべきかを考えることができた。また、地域の住民やお年寄りとの関わりを通して思いやりの心を育てることができた。学校の図書館でも福祉に関する本を読む児童が多く見られるようになってきた。今後も、児童が自ら福祉について学び、より深く理解していけるように見つめる心と実践力をつけていきたい。

令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立三条小学校	学校No.	34
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>①総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>【目的】</p> <p>福祉に関する調べ学習を通して、社会福祉への関心を高めるとともに、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育むこと（活動対象）4年生</p> <p>② 尾西公園美化活動</p> <p>【目的】</p> <p>地域の公園を、異学年と地域のお年寄りを交えたグループで清掃することを通して、年齢を超えた地域の絆づくりを行う。（活動対象）2・4年生（春） 3・5年生（秋）</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>①総合的な学習の時間における、福祉に関する学習</p> <p>(1)インターネットを活用した調べ学習</p> <p>図書室で調べた中で、興味を持ったことについて、インターネットを使ってさらに詳しく調べた。</p> <p>(2)福祉実践教室</p> <p>グループごとに手話、点字、車いすの各体験を通し、見えない、聞こえないことの困難さを知り、様々な特性を持った人たちと共に生きる力を育んだ。</p> <p>(3)壁新聞形式での発表</p> <p>学年廊下に掲示して、他のグループの児童が調べ、学んだ内容を共有した。</p> <p>②尾西公園美化活動 5月2・4年生 11月3・5年生</p> <p>8:30～10:20 尾西公園にて草むしり、落ち葉集めを行う。</p> <p>5月ゴミ袋(45L)150袋程度 11月ゴミ袋(45L)200袋程度を集めた。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>【成果】</p> <p>福祉実践教室では、手話、車椅子、点字のグループに分かれて体験をした。子どもたちは講師の先生の話真剣に聴いたり、初めて使う道具や手話に戸惑いながらも集中して活動することができた。</p> <p>尾西公園美化活動では、異学年集団で地域のお年寄りと共に、公園の美化活動を行うことを通して、地域の方や異学年との結びつきが生まれている。また、清掃活動に対する意欲も高められている。</p> <p>【課題】</p> <p>昨年よりは体験活動を通して学ぶ機会を設けることができた。今後も豊かな人間性や共に生きる力を育てるには、さらにさまざまな体験活動を取り入れていくとよいと感じた。</p>			



令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立小信中島小学校	学校N o.	35
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>(1) 目 標 福祉の町として、住みよい街づくりをするために自分たちにできることは何かを考えさせ、福祉に関する実践力を高める。</p> <p>(2) 計 画 福祉について知る・福祉実践教室の開催・一人暮らし老人の方へ年賀状・養護老人ホームへの見学・体験、総合学習での追究</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 福祉について知る 福祉の新聞記事を読んだり、インターネットを使ったりして、地域の福祉の実態や取り組みについて調べるなどした。また、書籍を購入し、調べ学習に生かせるようにした。その後、インターネットや本を使った情報収集、同じテーマをもった子たちとの情報交流などを行い、様々な表現手段を用いて用紙にまとめた。</p> <p>(2) 福祉実践教室の開催 9月 認知症理解は全員、車椅子・手話・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験の中から1つ選び、体験を行った。</p> <p>(3) 校区内にある高齢者特別養護老人ホームの見学・体験 コロナのため中止。</p> <p>(4) 一人暮らしの老人の方へ年賀状をおくる 12月 一人暮らしの老人の方々に孫になったつもりで、楽しいイラストや温かな文面で年賀状をかいた。</p> <p>(5) 総合的な学習の時間での追究 福祉の新聞記事、インターネットを使った調べ学習で、疑問に思ったことやもっと調べたいことなどから、テーマを決めた。その後、インターネットや本を使った情報収集、同じテーマをもった子たちとの情報交流などを行い、様々な表現手段を用いて模造紙にまとめ、発表を行った。</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題 調べ学習等を通して、福祉に対する理解が深まった。そして、障害のある人の気持ちに気づき、共に生きるために自分ができることを考えようとする児童や地域の福祉施設について関心を持つ児童が増えてきた。 福祉実践教室を通して、障害のある人の気持ちをより深く感じる事ができた。今後も「福祉」に対する理解を深める指導を継続していくとともに、生活の中で障害者の方に出会ったとき、学習したことが生かされるようにしていきたい。</p>			

令和4年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立朝日東小学校	学校 No.	3 6
1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）			
【学校教育目標】	【福祉教育目標】	【重点事業】	
「もっといい自分」を目指す 心豊かでたくましい朝東の子 ○ いのちを大切に、心と体を鍛え、たくましく生きる子 ○ きまりを守り 人と協力できる子 ○ やさしく 思いやりのある子	→	児童の社会福祉への理解を一層深め、体験活動を積み重ねることができような行事等を計画し実践する。	→
○ あいさつ運動 ○ 社会福祉体験活動 ○ 地域の講師を招いた体験活動（華道） ○ 募金活動 ○ 見守り隊感謝の会			
2. 福祉教育の具体的な活動の内容（活動の記録）			
今年度も、新型コロナウイルス感染症への対応で、地域へ出かけたりする活動、大勢の人が集まったりする活動を行うことができなかったが、校内において可能な限り、工夫をして活動を行った。			
【9月15日 福祉実践教室 5年生】 5年児童を対象に視覚障害者ガイドヘルプ、車いす体験、手話体験、点字体験の4つの内容で実施した。「視覚障害者ガイドヘルプ」では、視覚障害者の講師の方から日常生活の暮らし方や生活している中で困ることなどを話していただいた。その後は、視覚障害者とガイドヘルプの役に分かれて、階段や廊下で歩行体験をした。「手話」では、講師の方から日常生活でどのように手話を使うのかについて話をいただいた。手話以外にも身振りや口話、筆談などでも聴覚障害者に伝わることも話していただいた。学習や体験を通して学んだことを、これからの生活で生かそうという思いをもった児童が多かった。			
			
			ガイドヘルプ体験
【2月3日 華道体験 6年生】 6年生を対象に、地域の講師の方を招いて華道体験を実施した。毎年、日本の伝統文化を体験する目的で行っている。講師の方から講話を聞いた後、華道体験に取り組んだ。児童は、講師の方から丁寧に指導してもらい、各々の発想で花を生けていった。貴重な日本の伝統的な文化を体験することができた。			
			
			華道体験
【3月2日 見守り隊感謝の会 全学年】 今年度も登下校を見守ってくださった見守り隊の方々へ感謝を伝えるため、「見守り隊感謝の会」を開いた。お世話になった見守り隊や駐在所の方々に、手紙や花束などを手渡して、1年分の感謝の気持ちを伝えた。下校の際には、児童から見守り隊の方々に「安全に見守ってくださってありがとうございました。」と自主的にお礼を言う姿も見られた。			
			
			見守り隊感謝の会
3. 福祉教育の成果と今後の課題			
今年度も活動に制約があり、例年通りの取り組みはできなかったが、できる範囲での活動を通して、豊かな心を育成することができ、地域社会とのつながりを意識させることができた。来年度も、福祉実践教室や地域の方との関わりを通して、児童に相手を思いやる心を育成したり、地域社会の一員としての自覚を高めさせたりしていきたい。			